

# 臨時総会で「提言」を承認

## 全国万引犯罪防止機構



竹花副理事長

全国万引犯罪防止機構（河上和雄理事長）は1月20日、東京都千代田区で平成26年度臨時総会を開催

した。

竹花副理事長は開会挨拶で「増加する万引犯罪の防止のため喫緊の課題である①高齢者万引対策②集団窃盗の情報取り扱い③防犯画像の取り扱い④盗品ネットワーク処分の4問題に関する社会的な建議・提言を行うことを目指し、その準備



シンポジウムの模様

のための小委員会を昨年5月に設置した。①から③の研究結果について提言としてとりまとめたので発表・審議する」と述べた。議案審議では、①の問題

については65歳以上の高齢者による万引犯罪の割合が平成24年に全体の3割を超え青少年を上回った状況を説明し、小売業関係、都道府県・警察の関係機関、報道関係、高齢者に対して万引の未然防止策を提言。

②については万引犯罪が個人から組織的・計画的な犯行に移行しており抜本的な対策を要する段階にきているとし、小売業、警察当局、業界団体に対し提言。③は防犯カメラが社会の安全を守るツールとして理

解されている一方、個人のプライバシーを損なうなど運用面の難しさがある。小売業関係者、メーカーなど産業団体、警察、経済産業省に各々提言を行った。以上の3提言を含め、議案はすべて承認された。役員（理事）の異動は次の通り。

【新理事】田中法昌（全国防犯協会連合会）、菊間千乃（弁護士法人松尾総合法律事務所）、山村秀彦（全国万引犯罪防止機構）。続いて第2部として、関

連機関による調査報告を行った。法務省法務総合研究所研究部・町田鉄男統括研究官が「平成26年版犯罪白書の概要（万引事犯者と再犯を中心に）」、日本チェンドラッグストア協会・植栗雄太マネージャーが



参加者や来賓との記念撮



社員による杖道の演習



青山学院大学空手道部の演習